

てん

06.9.No113
発行所 市岡日出夫

さようなら

私が船頭さん!

8月

あつた
暑い



柳林の道
心身に美しい時、がある

柳瀬小学校の子どもたちと、かぶらのカブ編
をスタートした8月。祖谷も暑い日が続きま
したが、心は燃えたという印象はありませ
ん。いつもの年のように、山の奥内、奥祖谷夏
まつりも盛りまりましたが、熱中感が残るといは
れがです。
そんな中では、川遊びは一日中続ゆかす
ぶふも巨ちの元気な声が祖谷川にこだ
ましたのには上旬のことでした。
旧一戸村より葛籠さんのご家族が遊びに
来られて、右中の江戸橋のようにならぶとも
が族に夢中になつて遊びました。
はひめは、心配そうに恐る恐るに乗るとい
う。



と、干后には、自給を持てる様子をこまめに一人
ひめする程です。
そこで、葛籠さんのお手製の舟を川原で食べら
るのは、大変おいく、こいも祖谷の自然の中だから
かしようか。
お盆すぎは、はまか千葉県市川市か、香藤さ
んが訪ねて来て下さりました。もう五回目なんぞ
ですが、ハナ差さあひさんこと井上さんが祖谷駐在所勤
務の時に、はひめと祖谷に来て、祖谷と井上さん人づ
みアとひつこま、今では、井上さんの娘さんのおま
な関係、祖谷村の村民にもひつこま、今回は、コチ
ン油り、交流念もしました。
それにしても、香藤さんかあんなに美人だったのを心
してしまつた。私はどうかしたのぞしようか。
山も、剣山、芝笠山、天狗塚に登つたりしました。
今ひとつ天候もよくはなつたけど、暑くの人たちとの出
逢いがあり、毎回のりんは事を教わります。
障壁者の皆さんのアイデアでは、久保さんのお世話で暑
日一日、午前中をばまきもしました。暑くはひめさんより
十日程遅くはなつたけど、芽が出たといえます。
下旬には、夏休みの宿題を急いでついでに、コチン
で、夏休みの学習も訂正してついでに、コチンで呼びか
けました。参加者のびの状況です。
ひやしの綱のモノレールも完成した。加初回は故障し、
ひめが思いやうします。お盆の上登りにひめさう
ご、訂正した人たちの責任を問いたい気持です。

さようなら 奥鳴 和明

私達の様々な活動の仲間、
私かリターンして、はひめと知り
あい、その生き方に共感し、
「お盆さん」と気楽に遊べる身
つていた、奥鳴和明さんか八月二
五日突然帰えらぬ人となつてこ
まいました。
聞けば、ガンと闘っていたとい
う。身体がだるいとは口にくくり
ど病状がこまを進行し、和明
さんの身体を蝕んでいたのであ
る。残念でなりません。
皆人々と話をこころ時はさうご
もありませんが、一人にひつた時、
と思ひ出します。
何か心の中が重く感じられるを
と真中できなひ時もありま
和明さん、ありがとう、さよう
さようなら
～奥鳴をお祈り申し上げます～

